

バンクーバー便り1

バンクーバー時間：2023年3月29日

皆さんこんにちは。私は中村道彦、ナツカンです。今回から気の向くままに「バンクーバー便り」をMLでお送りしたいと思います。突然の話で訳の分からない方もおられるかもしれませんが、経緯をお話します。

広島の実家近くの父方祖母の土地であった南区宇品東2丁目で、2011年9月からメンタルクリニック・ラッコリンを開業しました。子どもと女性のためのメンタルクリニックとして約11年間診療にあたってきました。子ども達の中心は“不登校児”ですが、私は「登校困難児」と呼んでいました。お陰様で子ども達は1000名近い数になりました。しかし私も寄る年波には勝てず、2022年11月に閉院を決心しました。

その後、家内の留学希望もあり、カナダ・バンクーバに居を移し、第?番目の人生を始めることにしました。住まいはバンクーバーのダウンタウンから少し離れたサンセットという場所です。ここに住まいを決めましたのは、家内の通う大学が近くで、6歳の娘の小学校も徒歩5分位と便利な場所にあるからです。観光地として有名なダウンタウンにはめったに行くことはありません。ただ、バンクーバーの公共交通は発達していて、ちょっと懐かしいトロリーバスが縦横無尽に走っています。バスは2輦編成ですから比較的すいており、大体は座ることができます。

この様な事情で、郷里に墓を作る心配をする年齢になって、異国のカナダで生活することになりました。カナダはご存知のように多言語・多文化主義の国で、世界中から移民者が集まっています。英語が共通言語ですが様々な言語が飛び交い、大声で内緒話をしやすい環境です。文化的にも出身文化を大切にすることを方針としているためか、民族衣装を着ている人も多く、国際的な都市だと勘違いさせられます。

さて、今回はバンクーバーのお天気から話を始めたいと思います。私たちがカナダに入りましたのが12月でしたが、バンクーバーでも珍しいと言われるくらい雪が降り、30cm位積雪しました。寒さは「しばれる」ほどではなく、日本の冬装束で十分ですが、なにせ私たちは雪道には慣れぬため、履物に留意する必要があります。その頃日本も豪雪に見舞われているとニュースで知りました。総じて冬は雪が少なく、積雪する日もこの一冬で10日もなかったように思います。しかも積雪しても大概はうっすらとした雪化粧といった程度で数日のうちに溶けてしまいます。むしろ驚いたのは雨の多いことです。例年、バンクーバーでは冬に雨が何日も続くとのことで、「レインクーバー」ともいわれるそうです。この冬も1月を中心に、ほぼ毎日小雨～中雨?が降りましたが、3月に入ってから雨の日が少なくなってきました。晴れる日は透明な青空が視野全体に広がり、目が痛くなるほど煌めく太陽の光で大地の緑が実に鮮やかにみえます。加えてタンポポなど小さな花が咲き始め、公園や庭先に奇麗な花が見られるようになりました。桜の樹もあり、3月下旬ごろから咲き始めました。

また日も長くなり、夜7時ごろも明るいので驚いています。それでややこしいのですが夏時間となり、時計を1時間早めることとなります。5月頃からはさらに天候は安定し、バン

クーバーの快適な夏を迎えるそうですが、未体験のため分かりません。一度、旅行で5月のバンクーバーに来たときは爽やかな気候であったことを記憶しています。そのためか多くの家には冷房機がありません。窓を開けて外気を入れれば十分だと周りの人は話していますが、本当かどうか。

今回はこのあたりにしておきます。今後、気の付くことや考えさせられることがあれば、折々に便りをします。皆さんも健康にお過ごしください。

最後にネット社会にこの年寄りが参加して『ラッコリンの小部屋』というサイトを立ち上げます。主にメンタルなことや趣味が高じて恥知らずの道楽をアップしています。お時間があれば覗いてみてください。



2023年3月下旬のバンクーバー。家の近くの歩道の桜が咲いています。



珍しく積雪をしたバンクーバー。住まいの近くの公園にある丘に娘が登っています。